

福島第一原子力発電所における津波リスク低減を目的としたメガフロート移設工事の進捗状況 (ステップ1完了について)

< 参 考 資 料 >
2020年2月26日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

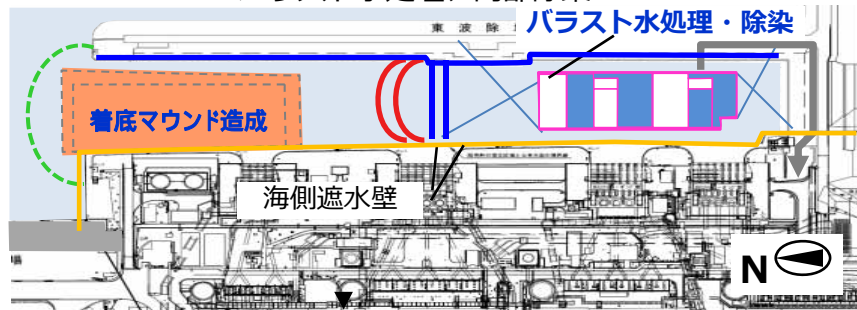
【実施目的】

メガフロートを港湾内に係留する状況が継続した場合、津波漂流物となり周辺設備を損傷させるリスクがあることから、現在、津波リスクを早期に低減させる観点で底上げした海底に着底（安定）させ、さらに物揚場等として有効活用する工事を実施しております。

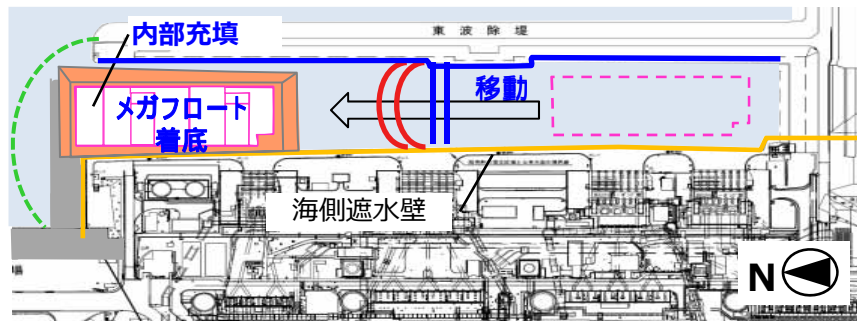
【進捗状況】

2018年11月12日から工事着手しており、ステップ1工事である「着底マウンド造成」、「バラスト水処理（※）」、「内部除染」が、本日完了しました。引き続き、2020年3月上旬からステップ2として「メガフロート着底・内部充填」作業に着手してまいります。

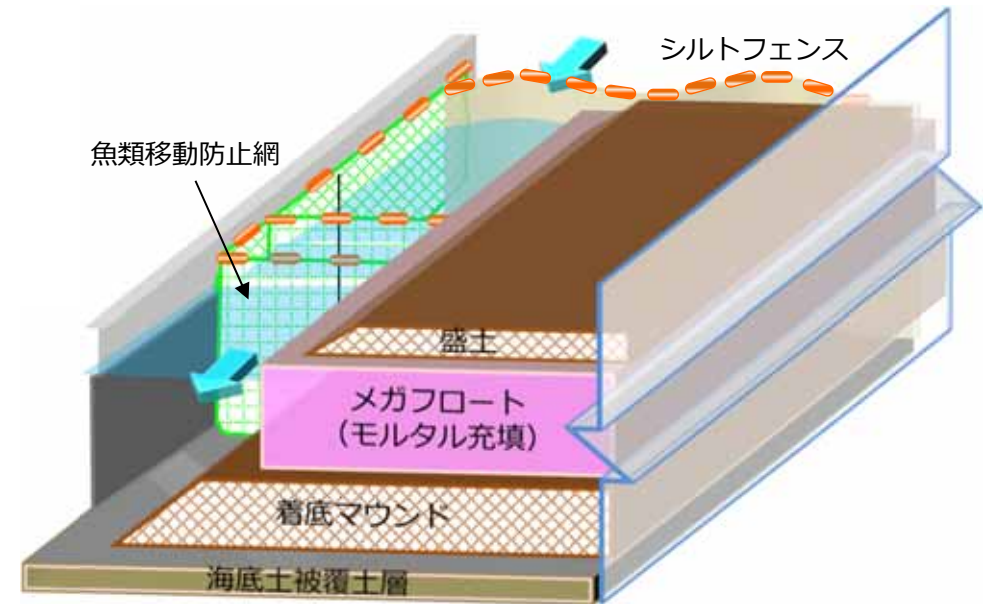
【ステップ1】 メガフロート移動、着底マウンド造成
バラスト水処理、内部除染



【ステップ2】 メガフロート着底、内部充填



※バラスト水…船体を安定させるために重しとして船体内に貯留していた水

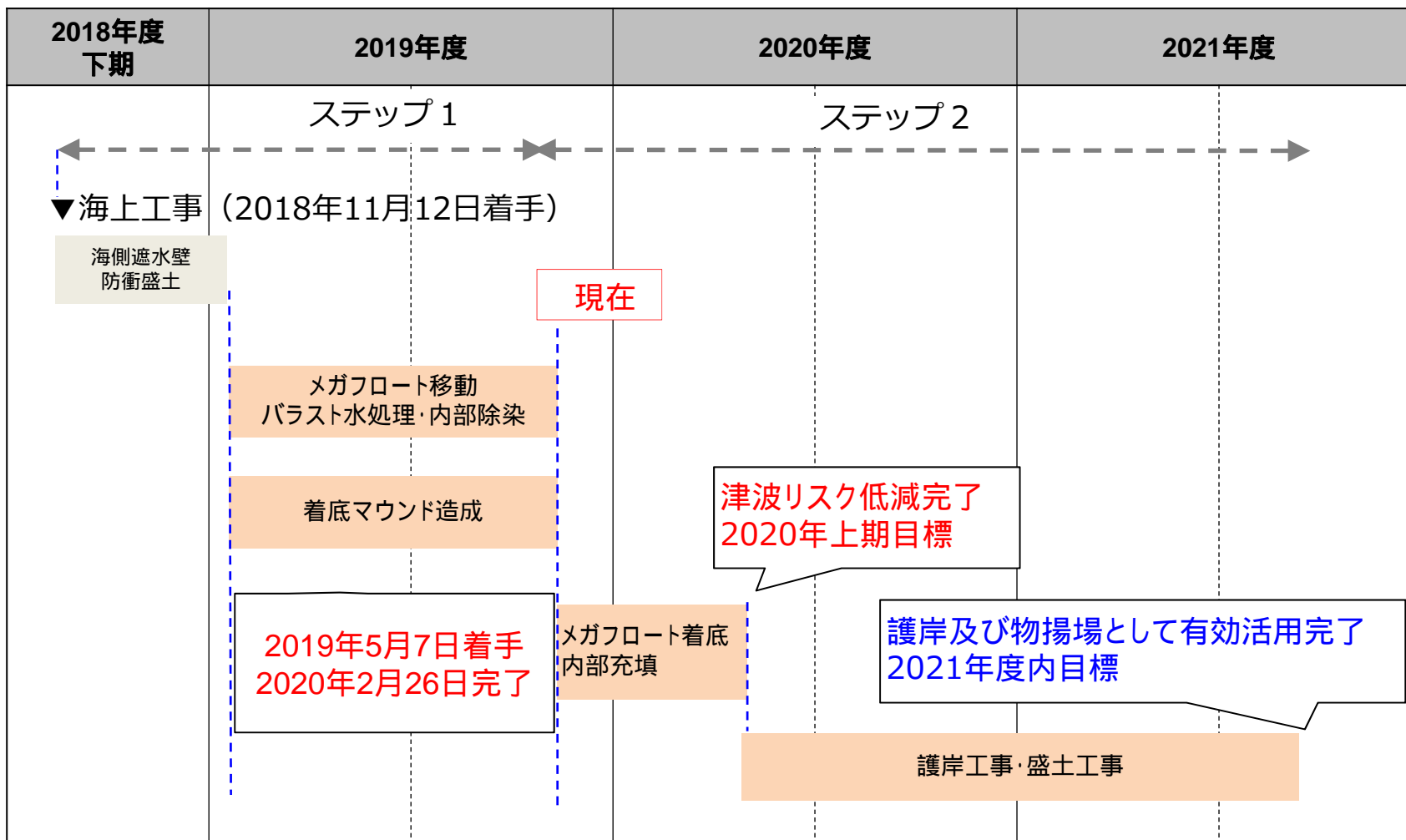


完成断面図 (イメージ)

— 魚類移動防止網 — シルトフェンス — 汚濁防止フェンス

全体概略工程

- 2020年度上期を目途に津波リスク低減完了を目標として対策工事を実施していきます。



進捗率 (2020年2月26日現在) 着底マウンド造成 : 100% バラスト水処理:100% 内部除染:100%

(参考) ステップ1における工事進捗状況

- 工事着手以降、港湾内の環境モニタリングを継続しておりますが、有意な変動は確認されておりません。



メガフロートの現況



【撮影方向】

バラスト水処理



着底マウンド造成

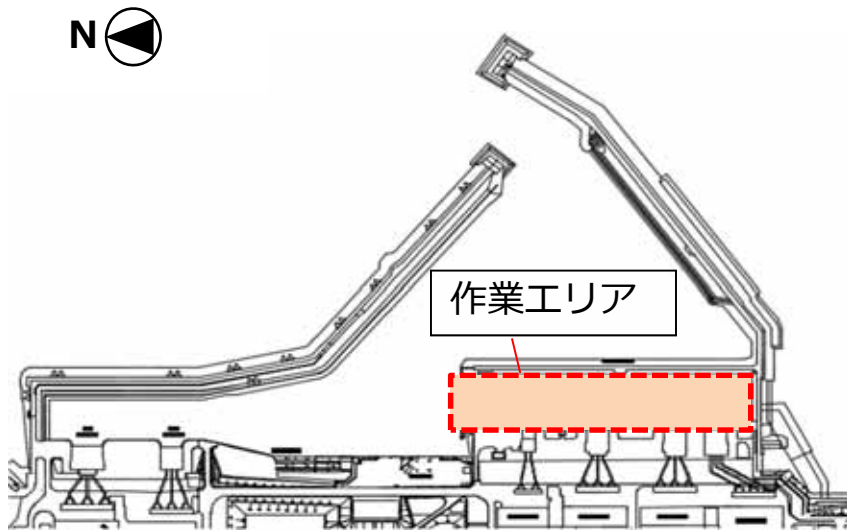


内部除染

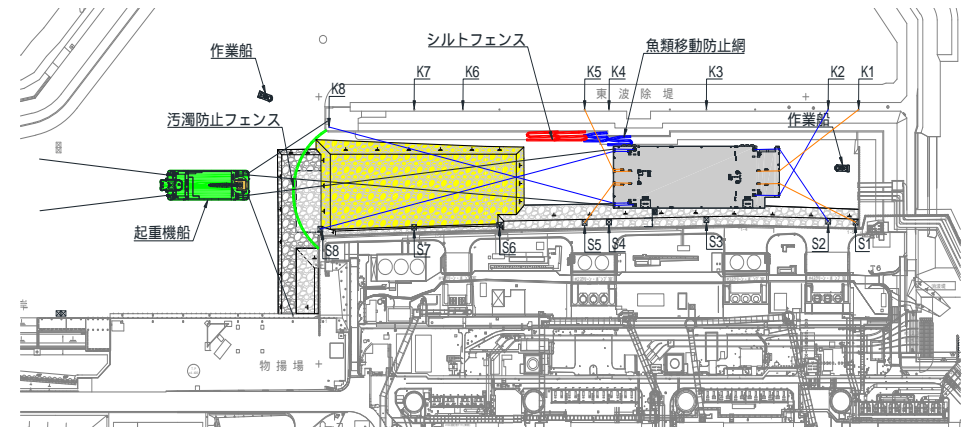


(参考) ステップ2における工事フェーズ (3月上旬より開始)

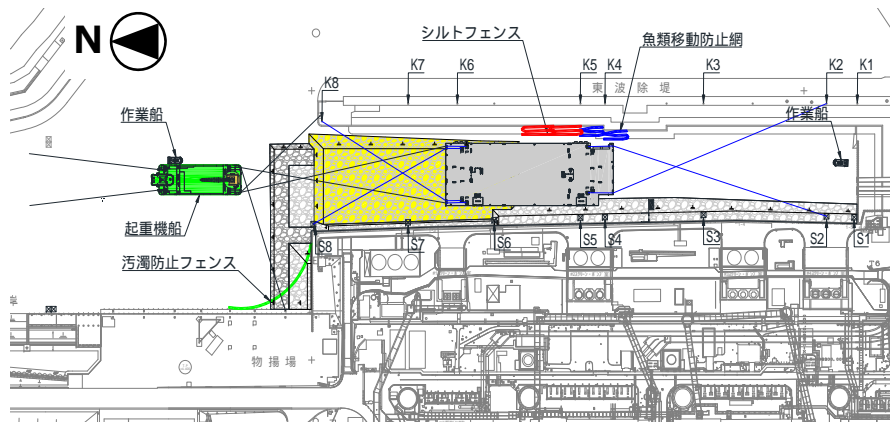
【港湾全体平面図】



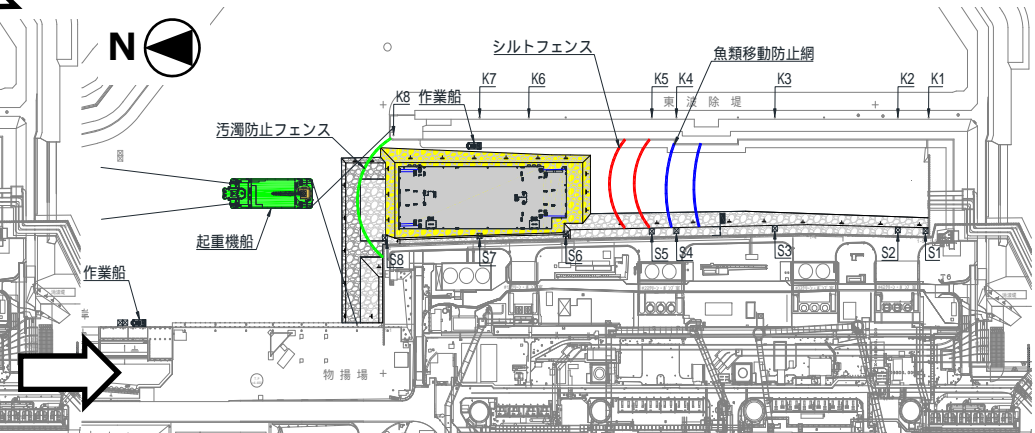
— 移動用ワイヤー — 係留用ロープ



①シルトフェンス、魚類移動防止網を一時的に取り外し、移動用ワイヤー設置や起重機船を最終配置後、移動前の最終係留状況を確認します。



②移動は、起重機船とメガフロート上のウインチ操作にて実施します。



③最終位置への移動後、メガフロート内部に海水を注水し着底させる作業を進めていきます。